

200歳万歳!

200歳まで生きる会
H十九年七月第十四号

『200歳まで生きる会』の顧問に就任して

「糖尿病性網膜症」「黄斑変性症」「白内障」
「糖尿病性神経症（多汗症）」「腎不全（腎からくる鬱）」「ネフローゼ」「腎臓移植」「免疫抑制剤により水虫の悪化による爪の変形」「高血圧」「心臓肥大」「心肺機能低下」「高脂血症」「高血圧」「頸椎症性狭窄症（腰の激痛、歩行の困難、手足のしびれ）」「頸椎症性脊椎症（脊椎からくる鬱）」「股関節の痛み」「膝に水が溜まる」「鬱、無気力、心的交流断絶」「全身筋肉低下」「全身衰弱」「栄養失調」「拒食症」「歩行困難」「床ずれ」「狭心症」「痔」「黄疽」「手術創が着かない」「麻酔が利かない」

これが、私が患った病気名である。私の場合、九死に一生、百死に一生もありえなかったはずだ。それが治った。有効なサブリも

あったであろうし、医療も最後に良き病院と医師に巡り会えたことも幸いした。

しかし、医学的にどうしても不治で、死を宿命付けられたものがいくつもありながら、なおかつ完治してしまったということは、ただミラクル（奇跡）という以外にない。

もちろん私が信仰心を抱く対象はサムシング・グレート（創造主）だ。個人的に日蓮も好きだし、アニミズムもいいし、パウロもいい。空海が癩病患者を抱擁したのもすばらしいし、道元もいい。

二十一世紀は一神教では生きてはいけない。少なくとも多神教的発想に立たねば人類は生き残れない。地球自体が環境問題という、人間の自らの業（カルマ）が生み出した業苦を今頃、思い知らされ始めている。

他を許し、寛容し共生しようという意思を持たぬ時、この地球に住む資格を人類は失う。それが二十一世紀だ。

私の三十二の病気は「思い」と「祈り」、そして周囲の人々の高貴な「愛」で治った。この会の会長、七田眞先生の励ましも大きかった。この七田先生は、私は生き仏だと思っている。すべてが「慈しみ」に溢れている稀有な人物だ。この七田先生や日本を代表する多

くの方々と共に、わたしは『輝け日本!』という政治団体を創った。もちろん日本の国民益・国益中心に。「オール・ハッピー日本!」を創造するのが目的だが、同時並行で、地球益世界連邦という人類が深層心理で願っている伝家の宝刀も達成したい。一千万人会員を目指したい。

皆さま!「輝け日本!」の会に入ってください。この人生を最も美しく、光輝に満ち満ちた運動を、心を合わせて盛り上げていきたいのです。そして、200年以上生きましよう。



瀧川 栄太(なみかわ えいた)

昭和18年東京生まれ。立教大学経済学部経済学科・同大学文学部教育学科卒業。20年間の教師生活の後、作家。教育学者。瀧川栄太塾塾長。日本教育文化研究会代表。国家戦略研究会議創立者。日本と世界の子ども達を救う会代表。『輝け日本!の会』会長。『200歳まで生きる会』顧問。

特集記事

神の恵み

放射線ホルミシス療法

①放射線はすべて危険か

これまで放射線はすべて有害と考えられてきました。ロンドンに本部がある国際放射線防護委員会が『放射線は怖い。少しでも良くない。本当はゼロであってほしい』といった勧告を40年以上も前に出して、世界中の政府が原子力規正法、防護基準を決めて、それに従ってきました。

ところが、一九八二年アメリカのトーマス・D・ラッキー博士が微量の放射線を当てると、免疫系が強くなる、癌にかかりにくくなる、幼少の頃から与えると他の人より背が高くなる、生殖力が強くなる、生体機能がすべて活性化するという論文を『米国保険物理学会誌』に書いたので、「この先生は気が狂っているのではないか」と全く無視されたり、危険視されたのです。

もし、それが真実なら法律から教科書まで、全部ひっくり返ることになるからです。日本でも、この論文を読んだ学者達は、みんなそのような反応を示しました。その中で、当時、電力中央研究所の初代原子力部長であった服部禎男博士は、ラッキー博士の主張が科学的に正当なものである

かどうか、米国に責任ある回答を強く要求しました。

米国側がラッキー博士はまじめな科学者であることを回答したことによって、服部博士の主導により、東大、京大、岡山大など日本国内の十以上の大学で動物実験及び臨床研究が展開されました。そして、最終的に『放射線ホルミシス』が世界的に認知されるに至ったのです。

放射線ホルミシス療法は神業とも思える副作用のない驚異的治療法として、二十一世紀の人類に、難病といわれるほとんどが克服できる可能性をもたらしました。放射線ホルミシス療法は未だに根治療法のない患者の皆さんに希望の光を与えるものとして、今、静に受け入れられつつあるのです。これは、従来の放射線治療の数百万分の一の弱い放射線を用いた低線量率放射線によるもので、理想の免疫系の状態を形成し、さまざまな難病に驚異的效果を上げる療法ですが、この医学を根本から変革させる可能性を秘めた放射線ホルミシス療法は、日本人研究者服部禎男博士の研究によるところが多いのです。博士は、二〇〇七年五月、国際ホルミシス協会より、その功績に対して表彰状を贈られました。

②放射線はつものように効く

放射線ホルミシスを身体に照射するとどういことが起こるのでしょうか。

まず、ホルモンに変化が起きます。メチオエンケファリンが通常の六・一ナノグラムという数値から十一・八ナノグラムに向上します。メチオエンケファリンは鎮痛に役立つホルモンなので、放射線ホルミシスを放射するハウスに30分入ってい

ると、痛みがほとんど消えてしまう効果があるのです。ペーターエンドロフインは十六・二ナノグラムから二十二・四ナノグラムに増加します。それによって、気分が非常に爽快になります。アドレナリンは四・二という数値から何とその約五倍の二十二・九という数値に跳ね上がります。これは、身体に非常な活力を与えます。

その他、体内の一六〇種のホルモンが全て活性化するのは。他に、三千種あるといわれる酵素がすべて活性化し、細胞膜が新品同様に活性化されるので、老化を防ぎ長寿が望めるのです。

放射線が照射されると体内で化学反応が起こり、これまで居眠りしていた全ての細胞が、その働きを目覚めさせるのです。いわば、放射線は目覚まし時計といってよいでしょう。

人間の年令に換算すると六十歳代だといわれる三〇匹の末期がんの鼠をホルミシスハウスに入れると、たった五週間で癌はみな消失し、肌がツヤツヤになり若返り、一八歳代の鼠に返って生殖行動が盛んになりました。

人間では、認知症状が消え、若返り、骨密度が濃くなって、骨粗鬆症が消えたりするのです。十数年来の糖尿病が消えたり、リウマチが二回の照射で良くなったり、うつ病が二、三回で治ったりと驚くような結果が報告されています。

東北大名誉教授で医学博士の坂本澄彦さんは、十年前大腸癌であることがわかり、それも進行性の癌で、見つかった時には全身に癌細胞が広がっていました。担当医は、夫人に『あと半年です。お気の毒です』というばかりでした。

そこで、坂本先生は放射線ホルミシス療法を試

みられたのです。

癌治療には普通、一日二グレイの放射線を週に五回放射し、それを数週間続け、総量六〇から八〇ぐらい照射するのですが、坂本先生は自分の身体に、その百分の一にも満たない〇、一五グレイを週に二回、五週間にわたって照射したのです。それで、総量一・五グレイですから、通常の治療の一回分にも満たない量です。

しかし、それによって、奇跡的と言ってよいほど癌細胞がすっかり消滅し、すでに十年を経過しています。再発がまったく見られないのです。放射線ホルミシス療法は、神の恵みの療法といわれるのも、むべなるかなです。

ホルミシス療法を体験したい方は、

<http://www.shinene.com> をご覧下さい。



【ホルミシスルーム】

長寿健康法

長寿者に学ぶ健康法

アメリカのボストン、メディカルセンターにセンテネリアン（百歳を越える長寿者達）研究部があります。ここを統括しているのはトーマス・ポール博士。博士はこれまでに八百人のセンテネリアンの研究を綿密に行っていました。

そして、判ってきたことがあります。

第一に、センテネリアンの四十％は過去二十年間に渡って、何らかの病気と共に生きてきたこと、その病気が原因で日常生活に支障が出るようになったのは九十歳代の半ばを過ぎてからで、八〇〇人中の十三％のセンテネリアンたちは、生涯加齢に伴う病気から全く影響を受けなかったということ。

第二は年を取るほど健康状態は良くなっていたこと。百歳を越えたということは一つの健康のバロメーターになるといふこと。

第三は多くの人が信仰を持っていて、週末に必ず教会に通っていること。

第四は彼らの多くは肉をほとんど食べない。（つまりたんぱく質の摂取は少ない）

タバコは吸わない、アルコールの摂取も極めて少ない。第五は家族と共に過ごす時間を大切にしている。それがストレスをコントロールすることに繋がっている。

センテネリアンはアメリカでは、二〇〇六年で約十万人。日本では三万人といわれます。共通しているのは年のわりに若く見えること。そして活動的であることです。

あることです。

現在、世界の長寿最高記録保持者はフランスの女性ジーン・カルメンさんで一二二歳。一一〇歳までタバコは吸い続け、百歳まで毎日自転車に乗り、ユーモアのセンスは失わないということです。

究極の長生き法は「果物と生野菜食」健康法

一、人間はもともと果食性

人間は、食性から見ると雑食性と考えられますが、本当は「果食」が食性だったのです。自然界の動物達は、自然の摂理が定めた食性の法則にしたがって、食べ、暮らしているのです。そして、死の直前までエネルギーに生きています。自然界には太りすぎて空を飛べなくなった鳥も、原野を走れなくなったカモシカやキリンもいません。自然界には食性を守る限り病気は存在しないのです。

古代ギリシャの哲学者、数学者、生理学者であるピタゴラスは、二千五百年以上も前に人間の食性について述べ、果物と野菜の食事が正しいことを説いています。そうして、彼の理論に従って食事をする人々のことを「ピタゴリアン」といっていました。ヒポクラテス、ソクラテス、プラトン、アリストテレスなどはその仲間、彼らは「フルータリアン」（果食主義者）でした。

その当時の様子を古代ギリシャに有名な歴史家ヘロドトスは、「ギリシャの最古の住民達はオレンジの実るところに住み、オレンジやデーツを主食にしていた。そして彼らは平均二〇〇歳生きた」と記録に残しています。古代オリンピックで強靱な体力を競った、筋骨逞しい競技者たちも、果物を主食としてすばらしい記録を打ち立てていたのです。

ピタゴリアンという言葉は、一八四〇年代にラテン語の「ベジタリアン」(精力的な)という言葉に置き換えられるまで、「果物や野菜を主食とする精力的な人々」を指す言葉として広く一般に用いられていました。「ベジタリアン」という言葉は、本来、ベジタブルからの派生語ではなく、野菜と果物を食べる人々を意味する言葉だったのです。

生物学的に人間の体は果物と野菜を主食とするように作られているのです。人間は、オランウータンやチンパンジーといった霊長類の仲間、果食動物に属しているのです。ノーベル賞受賞者でマサチューセッツ工科大学教授の利根川進博士は、次のように述べています。「人間とチンパンジーの遺伝子の違いは、僅かなパーセントで、体毛の有無や頭脳の発達程度に見られるに過ぎない。解剖学的に見たからだと構造、消化器官をはじめとするすべての代謝機能はなんら変わりはない」

イギリスの科学雑誌「ネイチャー」は、二〇〇二年一月号に、人間とチンパンジーとの相違は僅か一・二三%と発表しています。

チンパンジーの食べ物は、その五〇%が果物で、野菜(柔らかい木の葉や草)が四〇%、五%が根菜類です。動物性食品(ありやシロアリなど)は四%以下です。

このことからしても、人間の体にとって最もふさわしい食べ物とは、果物と野菜といえます。旧約聖書の創世記の第一章には、「神は種をつける草と、種がある果物の木をことごとくあなた達に与えた。それがあなた達の食べ物である」という記述があります。太古の私達の祖先は、ずっと果物を主食にしてきたことが、人類学、考古学、解剖学、歴史学の上からも証明されているのです。文明が発達し、食

文化がいくら変化しても、私達の体の消化器官の構造や消化のプロセス、生化学反応は古代人の時のままです。途中で雑食性に変ったということは、解剖学的、生化学的にはないのです。

二、体は「命の水」を求めている

人間の体は七〇%の水からできています。スリムな体系と健康を保つには、七〇%の水分を保つことが理想です。ただし、ただの水ではどんなに大量に飲んでも役に立ちません。生命力に溢れた生きた水を取り込まなければならぬのです。生きた水とは、糖やビタミン、ミネラル、酵素他様々な栄養成分を豊富に含んだ、生きている新鮮な果物や野菜の中にしかないのです。特に果物は、この地球上で最も多くの水(成分の八〇から九〇%)を含む食べ物です。

果物や野菜に含まれる水こそ「命の水」です。この水によって体は浄化され、必要な栄養分がスピーディーに身体の細胞、組織、腺、器官、その他体のすべての部分に与えられていきます。「命の水」には体の中の毒性の老廃物を洗い流す働きがあります。そのため、スリムな体になり、癌などの病細胞は正常な細胞に蘇ります。

「命の水」は、地球上に存在する最もクリーンなエネルギー源で、完全燃焼するため有害な燃えカス(毒素)を体内に残すことがありません。消化のために体内に蓄えられたエネルギーをほとんど使わないので、節約できたエネルギーは組織の浄化(痩せることなど)や修復にまわすことができます。果物は消化のために体のエネルギーをほとんど使わずに、最大限のエネルギーを得ることができる唯一の食べ物です。(食べても胃腸の負担にならない)

また「命の水」には、酵素(生命力)が凝縮して入っているのです。酵素こそ生命力、生命の根源といわれ、酵素のお陰で人間は体内の自前の酵素を消費せずに、楽に消化吸収することができます。酵素は、加熱すると摂氏五四・四度で死んでしまいます。人間の体は死んだものからはなんら恩恵を受けることはできないのです。むしろ、寿命がちじめるられるものなのです。

酵素には三種類あつて、ひとつは食物に含まれる食物酵素です。他の二種類は動物の体内で作られる消化酵素と代謝酵素です。人の体内で作られる酵素は三千種類にも及びますが、酵素の製造能力には限りがあり、加齢とともに低下していきます。加熱した食物ばかり摂っていると、自然な食物酵素が入ってこないで、体内の消化酵素と代謝酵素をどんどん消費することになります。

生の果物や野菜の摂取量が多い人は、加工食品や加熱した食品を食べている人よりも、生来の酵素の預金を節約することができるために、いつまでも若々しくエネルギーが溢れるのです。

三、果食に変えて癌が治った

果食にすると子宮筋腫や卵巣腫など、医療費をかけずに消してしまうことができます。普通の人には、「果物は太る」と思っているのに、果物を余り食べませんし、「生野菜は体を冷やすから食べ過ぎないように、加熱した野菜のほうがたくさん摂れる」という栄養士達の教えを信じ、温野菜の方がよいと思っています。

けれども果物や野菜食に切り替えると、サプリメントや健康補助食品など一切使わずに一切の痛

トピックス

みや苦痛から解放されてしまうのです。肌は化粧品など使わなくても、健康な赤ちゃんの肌のようなツルツルの肌になります。体がエネルギーシユになり、体を動かすことが楽になり、ジョギングやバーベル上げなども楽にできるようになります。

ヘルス・エデュケーターの松田麻美子さんは果食にする前までは美食家で、三十四歳のときに子宮筋腫になり手術で摘出してしまいました。食べることが好きでいろいろな美食をしていました。動物性食品中心で新鮮な野菜や果物が圧倒的に不足している食事をしていたのです。果食が正しいと学び、食事を百%変えました。きっかけは、友人から一冊の本をプレゼントされたことからです。その本には、「誰でもスリムで健康になれるというすばらしい能力を持っている」としてあり、「ナチュラル・ハイジーン」のことが書いてあったのです。

「ナチュラル・ハイジーン」とはアメリカで誕生した学問で、自然健康学と訳されています。健康食品やサプリメントに頼らない果物・野菜を中心に食生活を改善することを最大のポイントにしています。

松田麻美子さんは食事を「ナチュラル・ハイジーン」の理論に添って変えて、それ以来すつかり健康な体になりました。五〇代でありながら二〇代の女性達と同じ体型を誇りにしておられます。果物・生野菜の食事に変えると、超健康革命が行なわれるのです。

松田麻美子さんには「常識破りの超健康革命」(グスコ出版)という著書があります。果物食健康法を書いた本です。

頭を良くする機器「ガンマー10」

一、頭をよくするハイテク機器がある

「知つてりや今頃ハーバード」という本があります。(兒玉孝之著 牧野出版)

これは、目の働きを良くし、脳を活性化するという機器のことを書いた本です。

著者の兒玉孝之さんは、前書きで次のように書いています。

「私が『ガンマー10(テン)』と呼ばれるマシンを使用し、その顕著な効果を実感した時の正直な感想は、なぜこの優れたものが、もつと世間の人に広まらないのだろうかということでした。それを不思議に思つたものでした。」と書いています。

『ガンマー10』はこれを使ったスポーツの選手達の動体視力を驚異的に向上させる働きがあるということです。

旧長嶋巨人監督は、この機械を選手達に使わせることによつて、巨人を優勝に導いたことがあるのです。

航空自衛隊もパイロットの視力向上に採用したり、税理士協会や公認会計士の組合が認定商品にするなど、この機器の本当の価値を知る人たちは、仕事や暮らしに取り入れて、大なる恩恵を蒙っているという商品です。

目を良くするだけでなく、脳の働きそのものも良くなることから、司法試験や大学受験にも利用され、難関校もこの『ガンマー10』のお陰でパスした子どもたちもいることから、この機械を使えば、ハーバード

大学にも合格することが可能ということで、「知つてりや今頃ハーバード」という本が誕生したという次第なのです。

二、野球界の選手達が使っている

巨人が、この秘密兵器を使つて優勝したという記事が週刊誌に出たことがあります。この記事の内容を紹介しましょう。

「史上初の最終戦決着で盛り上がった今年のセ・パナントレース。終わつてみれば巨人の貧打線が突如爆発して優勝。更に前評価を覆して、日本シリーズも制した」

それまで、打線が振るわず、一向に勝てそうにもなかつた巨人が、土壇場になつて突如強くなつた。その陰に『ガンマー10』という秘密兵器が存在していたというのです。

巨人が打線が振るわず、息も絶え絶えだつた年の九月、長嶋監督はこの機械のことを噂に聞いたのです。そこで、二台を購入、十月一日のヤクルト戦から使うことにしたところ、たちまち六対〇で快勝したということです。

この機会を使った選手達に感想を聞くと「目がパツチリとスツキリし、リラックスでき、集中力がつく」というのです。

巨人の選手ではありませんが、この『ガンマー10』を使ったプロ野球選手の手記を紹介しましょう。

シーズンが始まつて、『ガンマー10』を個人で入手して、練習前、練習後に使い、遠征先にも持つて行つて試合前に使つたというこの選手。試合の大切な場面でコーチに代打で呼ばれました。カウントはツアウト。でも、『ガンマー10』のお陰で心が落ち着いていて、ボールがとてもよく見えます。

「来た！」最も得意とするコースに来たボールを思い切り叩きました。これで同点の二塁打になり、ベンチに帰った時、監督に誉められ、『ガンマー10』のお陰と思ったそうです。

最初はもの珍しさから面白がつて使っていた選手達は、日が経つにつれて顔が変わってきました。真剣に『ガンマー10』を使うようになったのです。

その結果、選手達はどう変わったでしょう。バットを力任せに振り回していた選手が、肩の力を抜いてシャープなバッティングをするようになったのです。

動体視力が良くなったためでしょう。バント練習で、五球のうち二本しか当てられなかった選手が、五本とも成功するようになりました。

ピッチャーは一球一球を大切に投げるようになり、守備の選手の動きには無駄がなくなってきました。

三、子どもの学校の成績が一挙に向上

Mさんは『ガンマー10』を長男に仮性近視を治すために使わせてみました。すると、仮性近視が完全に回復したばかりか、マシンの使い始めた学期末には、子どもの成績が一挙に向上しました。

Mさんは、それまで原因不明のイライラに悩んでいたということですが、このマシンを使うとイライラがスッカリなくなつたということです。

Tさんは、個人の家庭教師をしています。

彼女は、一度請け負った生徒は、どんな難関校でも絶対合格させるそうです。今までの確率は100%だそうです。

実はその陰に『ガンマー10』があるというのです。

Tさんはある時、某病院長の小学六年の長男の勉強を見てやることになったそうです。

ところが、その子がわがままで、言葉遣いは粗暴、

学校の成績は下の下、算数もまるで基礎ができておらず、読み書きも満足にできません。

こんな子では私立有名中学どころか、公立の中学校でさえ、勉強についていけそうにはありませんでした。

そんな時、『ガンマー10』を知ったのです。そこでその子に、勉強の前に八分間だけマシンを使わせてみたのです。

結果は四か月後に見事に出来ました。勉強の理解が早くなり、勉強を嫌がらなくなりました。

その子は、マシンを使い始めてから、「黒板の字が前よりよく見えるようになり、先生の声もよく聞こえるようになった」と言います。

何より感動したのは、その子の成績がクラス三十数人中、三十位だったのが、一挙に六位に浮上したことです。担任の先生は答案のチェックが間違つたのではないかと何回も点検し直したそうです。

いつもは一桁の成績の子が、八十点以上取るようになったので、信じられなかったのです。

この子は翌年、見事、私立の難関校を突破したそうです。

この話が伝わって、都内の学習塾では秘かにこのマシンが使われているそうです。

四、ボケ防止にも良い

目は脳の一部です。脳を刺激すれば視力が良くなり、視力が向上すれば脳が活性化します。

都内のある大学の職員一家では、家族六人が『ガンマー10』を使っています。その一家の家族構成は大学職員の主人と、その妻と子ども二人。それに七十五歳になる主人の父親と七十一歳の母親六人です。

老父は七十歳過ぎから物忘れがひどくなり、軽度のボケ防止が見られました。

『ガンマー10』を三か月ほど使うと、ボケ気味だった言動がしつかりし、更に驚いたことにはある朝、老眼鏡なしに新聞を読んでいたのです。

眼科の常識では、老眼は治らないと言われているのに、父親の脳が活性化すると同時に老眼も改善されたのです。

この他に、ボケ症状が良くなったという話はいくらでもあるそうです。

『ガンマー10』は臨床試験の結果が、筑波短期大学の教授、森山朝正博士によつて報告されています。博士の臨床テストにより、安全性が確認されています。

『ガンマー10』はバイブレーションとパルスを交互に使って刺激する健康機器です。



【ガンマー10】

『ガンマー10』のお問い合わせは……
「右脳開発友の会」まで
TEL 〇八五五―五二―四三七九

良書推薦コーナー

「タダで自宅を手に入れるスゴイ方法」

日本ファイナンシャルアカデミー編著

／ダイヤモンド社

ちよつと耳寄りな話

「二戸建ての住宅を持ちたい」という願いは、多分、ほとんどすべての人々の願いではないでしょうか。けれども、これはなかなか現実が難しい願いであるかもしれません。

ところが、これをとても簡単に実現する方法があるのです。知らないでいれば、いつまでも自分の家を持つことが難しいのですが、知ってしまったら今年中にでも自分の家を持つことができます。今回は、そんな話の紹介です。

普通、人は三十〜三十五年ローンを組んで、一戸建ての住宅を購入することをよくやります。そして、ローンの返済に追われ、生活が圧迫されてしまうというケースが多いというのが現実です。けれども、この住宅ローンを上手に生かせば、我が家をただで手に入れることができるのです。そういう上手い方法があるのですから、知らないとは大損です。

今、ようやく景気回復の傾向が現れて、住宅を

買うのによい時期が来たように思えます。だから、今がチャンスと考えるかもしれませんが、今の景気回復傾向が一生続くという保証はありません。

長い一生の間には、景気がまたどう変動するか分からず、三十年ものローンを組んで大丈夫だろうかとか心配になるのも当然です。そんな状況の中で、一体どうすればタダで一戸建ての住宅を手にすることができるのでしょうか。

「収益型マイホーム」。この方法で家を建てることを学べばいいのです。「収益型マイホーム」で家を建てるというこの方法は、知らない人は知りませんが、実は、静かに広がっているのです。例えば、Mさんという方の実例を見てみましょう。

Mさんは、妻と子ども三人で賃貸ホームに住んでいました。部屋が狭くなったこともあり、住み替えを考えていました。この機会に、できれば新築の一戸建ての家に住みたいと奥さんが言うので、とりあえず住宅ローンをどれくらい借りれるかと、銀行のホームページでいろいろ調べることにしました。

調べていると、「店舗併用の場合は、自宅部分を五〇%以上にしてください」という記載が目についたのです。これは何、と思ったのがきっかけになりました。他の銀行のホームページを見ても「自宅部分に五〇%以上」とあります。

自宅部分が半分だけいいなら、もう半分は賃貸受託にすればよいのではないか。半分会賃貸にすれば、それでローンの返済を軽くすることができ。上手くいけば、プラスになる。フルローン

で借りられれば、自己資金ゼロで新築に住めることになる、とひらめいたのです。

Mさんは、自分の年収と照らし合わせて、住宅ローンは三千万借りられることが分かり、手持ち資金が三百万ほどあるので、この思いつきは実行可能だと思い、早速、実行に移すことにしました。一番苦労したのは、土地探しでした。店舗部分の借り手のことを考えれば、駅から十分以内の立地条件であることが、必須の条件だと考えました。同時に周辺のワンルームマンションの相場を調べたり、研究したりして、最後は自分の希望通りの設計プランを立てて、その年の十二月の半ばに遂に希望通りの「収益型マイホーム」に移り住みました。そうして、賃貸部分の入居者は、十二月に一室、一月中に残り二室の借り手が決まりました。借り手が決まらなくても、そんなに心配はなかったのです。というのは、月々のローン返済は、今まで住んでいたマンションの家賃と余り変わらなかったからです。だから、賃貸部分の収益でローンが払えることになり、結局はタダで一戸建ての住宅を手に入れることができた、という実例を作ることが出来たのです。

Mさんの今の毎月の家賃収入は十五万円です。毎月のローン返済は九万円です。そこで、ひと月六万円の収益があるのですから、今までとは違って、随分と余裕のある暮らしが出来るようになりました。

Mさんは、自分の経験から、更に今は一棟アパートの建築を進めています。

次は、Yさんという女性の例です。彼女はサラーマンの主人と子どもの三人暮らし。既に、三年前にマイホームを手にして住んでいました。が、「収益型マイホーム」の話を聞き「私もやりたい」と一念発起、今まで住んでいたマイホームも売却して、都内の別の有利な場所に「収益型マイホーム」を作りました。今までは、ローンの支払いが十五万円弱。賃貸部分からの収益は十八万円。「収益型マイホーム」にして、希望通りの新築の家に住め、おまけに月々お小遣いも入ってきて、本当によかったと思っています。

これから一戸建ての住宅を手にしたと考える人は、是非この「収益型マイホーム」の話を参考にしてくださるとよいでしょう。住宅ローンは自宅の購入にしか使えないと思っていませんか。五〇%以上の住宅スペースがあれば、後は賃貸に回せばよいのです。この仕組みを上手に利用すれば、あなたもすぐに一戸建てのマンションに住むことができるのです。

タダで自宅を手に入れるスゴイ方法

～収益マイホーム～

日本ファイナンシャルアカデミー 編著

マイホームは、自分で買うな!

これは画期的な住宅取得法だ!

- お金がなくても自宅が買えた!
- 他人のお金で住宅ローンがゼロになった!
- 多量に現金で買ったのに、返済ナシ
- さらに毎月の定額収入が得られた!

……これはすべて本当のハナシです!!

会員様からのお言葉

早春の三月、第一回の「200歳まで生きる会」講演会に参加させていただきありがとうございます。ありがとうございました。すばらしい方たちとご縁ができて、こんなにも有り難いことはございません。中でも、自然運筆法の野原元成先生とのご縁ができて、早速、基礎講座を受けさせていただきました。自然運筆法を体験させていただきましたが、何とも不思議な療法でございます。毎月、お送りいただいています「200歳 万歳!」は楽しく読ませています。ありがとうございます。先日、第十三号を、お送り頂き、ありがとうございます。会報が届きますと、一気に全部読ませていただいています。すばらしい記事が満載でございます。塩塗り健康法は早速にパンティーストッキングを二重にして中に塩を入れて、背中にも塗れる様にしました。とても気持ちよく体全体がポカポカと温かく、また体が軽くなってくるように感じます。最後になりましたが、「NPO法人地球と人類を守る会」の光の水にご縁ができ、毎日感謝で過ごさせていただいています。私も、光の水を通して少しでも人様のお役に立つことができたいと思ひ、毎日が楽しく嬉しくてワクワクしているところです。「200歳 万歳!」を通して、いろいろすばらしい方とご縁ができ、こんな有り難いことはございません。お礼を申し上げるのが大変遅くなり失礼致しました。

山口県 T.O様より

(長い文章でしたので、編集部で短く要約させていただきました。ありがとうございます。)

編集後記

六月から「200歳まで生きる会」も新年度になりました。役員改選を行い、新たに副会長に「新・エネルギー研究所」会長の濱須由光さん、顧問に「輝け日本!」の会の会長・瀧川栄太先生に就任していただきました。

新年の行事として十月七日(日)に「200歳の会」の大会を予定しています。その席で、新役員の紹介をさせていただきます。

前回は、五〇名の参加募集でしたが、定員を超える申し込みがあり、今回は百名を予定しています。

当日はこの会報で紹介した、放射線ホルミシス療法の服部禎男先生に講演をお願いしています。

ホルミシス療法は、東京・巣鴨の新・エネルギー研究所で体験することができ、すでに体験した人々の間から、体の痛みが消えてしまった、アトピーが治った、体の疲れが消えて、エネルギーギッシュになったなど、いろいろな目覚ましい体験例が報告されていて、大人気です。

初回の体験は無料です。会員制で、完全予約制になっているので必ず予約を取ってお出かけください。電話は、〇三―三九一五―一一七一。

平日は九時から一七時まで。土・日はお休みです。

【発行人】

七田 眞

【発行所】

「200歳まで生きる会」

〒695-0011

島根県江津市江津町527-5

☎0855-5215301

FAX 0855-5215797